

みんなで支える森林づくりニュース(第10号)

平成24年12月

「災害に強い森林づくり」シンポジウム 開催します!

近年、全国的に集中豪雨による山地災害が増加傾向にあります。23年9月に三重県南部を襲った台風第12号に伴う紀伊半島大水害では、山崩れに伴って流出した土砂や流木が下流の市街地まで押し寄せて道路や橋梁に被害を与え、山間部のみならず市街地をも巻き込むほどの甚大かつ広域な被害がもたらされました。

このような山地災害を受け、改めて森林の持つ保水力や土砂の流出防止機能等が注目されています。このシンポジウムは、最新の情報をとりいれながら、「災害に強い森林づくり」について議論します。

日時：平成25年3月2日(土)13:30~16:00

場所：四日市市文化会館第3ホール(四日市市安島2丁目5-3)

シンポジウムの内容や申し込み方法など詳細は、「災害に強い森林づくり」シンポジウムのチラシ(1月発行予定)や、三重県HP等でお知らせします。

紀伊半島大水害での被害



← 海岸に押し寄せた流木

流木は人家まで押し寄せ
大きな被害をもたらしました →



↑
小学校裏で発生した
土砂災害

お問い合わせ先：三重県農林水産部 治山林道課(電話059-224-2573)